

看護管理学方法論	4年・後期	1単位	准教授 鎌田由美子
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121104

1. 授業のねらい・概要

統合実習などの体験や卒後の看護実践の様々な事例を通して看護管理の基礎知識や諸論理を「活用する力」と看護管理の諸問題を「思考する力」を付ける。

2. 到達目標

1. 看護マネジメントの基本について理解することができる。
2. 社会ニーズ、患者ニーズと看護サービスを関連づけて考えることができる。
3. 看護管理上の課題を見出し、問題解決プロセスと問題解決技法の基本について理解する。
4. 看護職が置かれた現状課題について理解することができる。

3. 授業の進め方

授業は講義・演習によって行う。事例や文献を読み、講義から得た基礎知識や理論を活用してグループディスカッションをし、学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（講義・演習）

1. 看護マネジメント論
2. 看護政策論
3. サービス化社会と看護サービス ①社会ニーズと患者ニーズから考える看護サービスの在り方
4. サービス化社会と看護サービス ②論理的思考と問題解決技法
5. サービス化社会と看護サービス ③マーケティングの基礎知識
6. リーダーシップ論
7. ケーススタディ①
8. ケーススタディ②とまとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（80%）、講義・演習への参加態度、レポート（20%）によって総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1)看護の統合と実践 ①看護実践マネジメント／医療安全 メヂカルフレンド社
2)深澤優子他：20代ナースに伝えたい職業人の心得 ほか、授業中に随時紹介、資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

- 1)統合実習体験や情報として得た看護実践の疑問点・課題をまとめておくこと。
- 2)テキスト6. 2)を読み、感想・疑問をまとめておくこと。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻や授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業後のミニットペーパーの質問、感想に対してコメントする。
試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される。

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。